

常任委員会審査から

審査等の過程で特に議論となった点について、委員長報告の要旨を掲載

全文は市議会ホームページに掲載しています。

総務委員会

■地域の未来づくり推進事業

－合併地区など中山間・周辺地域でNPO法人や企業、地域住民が行うコミュニティビジネスの創出など、さまざまな地域課題の解決に取り組むための活動等に対する支援－

委員 ● 都市計画法の運用との整理はどうするのか。

市 ● 現在関係部局と課題の整理をしており、周辺地域の活性化に資する協議を進めていきたい。国も規制緩和に向けて動いており、地域振興・観光振興の方針や計画に整合したものについては、柔軟に対応できるとしているので、それに則した協議を行っていく。

保健福祉委員会

■里親登録者への支援を図る

委員 ● 本市の里親等委託率の目標値はあるのか。

市 ● 平成41年度末に委託率を3分の1程度にするという国の目標があり、本市は岡山県とともに計画を策定し、33パーセントを目標にしている。

委員 ● 委託率を上げるためには、登録はしているが委託を受けていない人とのマッチングが重要だ。今後、どう取り組むのか。

市 ● 幼児のうちから長期の養育をしたいという希望を持っている里親は多いが、マッチングが難しい。幅広く受け入れてもらえる里親を開拓し、市民と一緒に支援していく体制をつくっていききたい。

環境消防水道委員会

■ICT化で病院到着時間の短縮と早期処置の実現を

－岡山県救急医療情報システムと本市の消防指令システムの連携を図り、救急現場で医療機関情報の閲覧や傷病者情報の送信ができるタブレットを救急車に積載し、活用することで、病院到着時間の短縮や傷病者への早期処置の実現を図る－

委員 ● 患者を救急車に乗せてから、時間がかかっているのをよく見かけるが、病院到着までの時間が早くなるのか。

市 ● 平成28年は平均34.8分だったが、検証の結果、2分から2.5分程度早くなるものと考えている。

経済委員会

■所管を超えた岡山城の連携・管理のあり方を議論

－岡山城の魅力アップを図るため、レセプション会場として天守閣の夜間利用やバリアフリー化などを予定しているが、天守閣は産業観光局、公園部分は都市整備局、文化財は教育委員会と管理が分かれている－

委員 ● 縦割りではなく連携して整備するべきではないか。

市 ● 天守閣と烏城公園の指定管理者が違うため、イベント開催時に手続きで煩雑な面が生じている。今後、利用がますます活発化していくと見込まれるので、連携や管理のあり方について、具体的な議論をしっかりと詰めていきたい。

建設委員会

■路面電車の岡山駅前広場への乗り入れを調査・検討

委員 ● 地元の理解が得られていない。これまでの経過を踏まえ、①地元の単位町内会ごとの説明会開催、②厳しい条件での交通渋滞シミュレーションの再実施、③駅前商店街への動線確保、④渋滞の有無に関わらない^{※1}ペDESTリアンデッキの検討、⑤ビュックカメラ南側の横断歩道へのエレベーター設置で地下道を通る方法などの検討を提言する。

市 ● 連合町内会長と相談しながら、単位町内会の理解が得られるように取り組みたい。その他の提言についても、しっかりと実施・検討したい。

市民文教委員会

■公民館業務に支障がない体制づくりを目指す

－西川アイプラザ内に公民館振興室を設置－

委員 ● 振興室が公民館を統括・指導することによって、公民館の主体性や独自性が損なわれるのではないか。

市 ● 振興室は、リーダーシップを発揮するとともに公民館の主体性を尊重し、バランスを取りながら運営していきたい。

委員 ● 公民館と振興室で休館日が異なる。公民館が開館しているのに、振興室が閉まっているのは問題ないのか。

市 ● 本庁舎内に担当者を置くなど、公民館業務に支障がないような体制を考えていきたい。

◆用語解説 ※1【ペDESTリアンデッキ】

広場と横断歩道橋の両機能を併せ持ち、建物と接続して建設された、歩行者の通行専用の高架建築物